

令和8年5月22日
午後2時30分発表



広報資料

小樽港の海図をリニューアル！

海上保安庁は、海図 W5「小樽港」について、最新の測量成果を取り入れて令和8年5月29日に発行します。

海上保安庁は、船舶の安全な航海に必要な水深や浅瀬の位置、灯台や海岸付近の目標物、港湾施設などの情報を記載した海図（海の地図）を発行しています。

小樽港は、札幌など道央地域の物流や人の移動を支える重要な港で、港湾法上の重要港湾、港則法上の特定港に指定されています。明治時代に開港して以来、北海道の開拓や経済発展を支えてきた歴史ある港で、現在も貨物輸送・フェリー・観光（クルーズ船）など様々な役割を担っています。

改版前の海図は平成22年に発行されたものですが、この度、令和6年に実施された海域の測量成果や、陸域の目標物、港湾施設等の変更を反映して約15年ぶりに改版します。

なお、今回の改版により、これまでの海図 W5 は廃版となり航海用として使用できなくなりますので、航海安全のため最新情報を取り入れた新しい海図をご使用ください。

1. 海図の概要

刊種	海図番号	図名	縮尺	サイズ	価格（税込）
改版	W5	小樽港	1/10,000	1085mm×765mm	4,400円

2. 海図の購入方法

水路図誌販売所などでお求めになれます。詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

一般財団法人 日本水路協会 URL: <https://www.jha.or.jp/jp/jha/purchase/>



5月12日は 海上保安の日

○ 今回発行する海図の区域（概位）



○ 今回発行する海図

